

# 国際コミュニケーション学会2019年度退職記念講演会

2020年1月23日(木) 16時30分～18時00分

名古屋キャンパス 講義棟6階 L610教室

講演者: 田本健一 教授

## A Further Field for the Japanese Researchers in English?

Most of famous Japanese literary works have been translated into English by native speakers of English. Is there anything the Japanese researchers on English language and literature can do for further understanding of Japanese literature?

講演者: 樋野芳雄 教授

## 考えてきたこと、伝えたかったこと～「社会経済」・「国際関係」をめぐって

わたしたち人類が末永く地球自然の恵みにあずかって生き続けられるようにすること。意義があるとより感じられる労働・社会生活を送れるようにすること。世界大に広がった国際システムの中で、世界の人々と並んで平和を目指していくこと。切れ切れになります。そんなことについて感じているところをお話しさせていただこうと思います。

講演者: 山本雅子 教授

## 日本語共同体が好む視点構成—言葉・文化社会・表現すること—

言葉で表現する場合、その言葉は自分の自由意思で選択したものであり、自在に操っているように私たちは思っている。しかし、実際は、言葉の選択は、日本語を母語とする共同体が好むものの見方、考え方に拘束されている。言葉に拘引されて、人は共同体の一員となっていく。



お問い合わせ:

E-mail: frei@vega.aichi-u.ac.jp 藤井

TEL: 052-564-6128 FAX: 052-564-6228